

ホテルニューオータニ Red Rose Garden レッドローズガーデン

～赤一色に統一されたレッドローズガーデン～

世界的なフローラルデコレーターであるケネス・ターナー氏デザインのレッドローズガーデンは、2000年11月1日、屋上緑化の一環として誕生しました。

約2,500㎡の敷地に赤いバラ約2,000株が栽培され、結婚式場としても人気です。ここを訪れるカップルにとって「愛が深まるロマンチックなローズガーデン」になればという願いを込め、バラの色は情熱、愛情をイメージさせる赤一色に限定。中でも特に美しいニュアンスが感じられる「赤」を約30品種セレクトしました。

個性が異なる3万輪の赤バラが美しい色彩のグラデーションを奏で、ガーデン全体に魅力的な雰囲気を醸し出しています。

※レッドローズガーデンは、一部の客室からご覧いただけます。
ご宿泊の際は、「レッドローズガーデン側のお部屋希望」とお申し付けください。
(開花時期をご確認のうえご予約ください。)

<場 所> ザ・メイン3階 ニューオータニクラブラウンジ隣接
<開園時間> 5～6月 10:00～18:00(最終入場17:30)
9～10月 10:00～17:00(最終入場16:30)
(2022年9月現在)

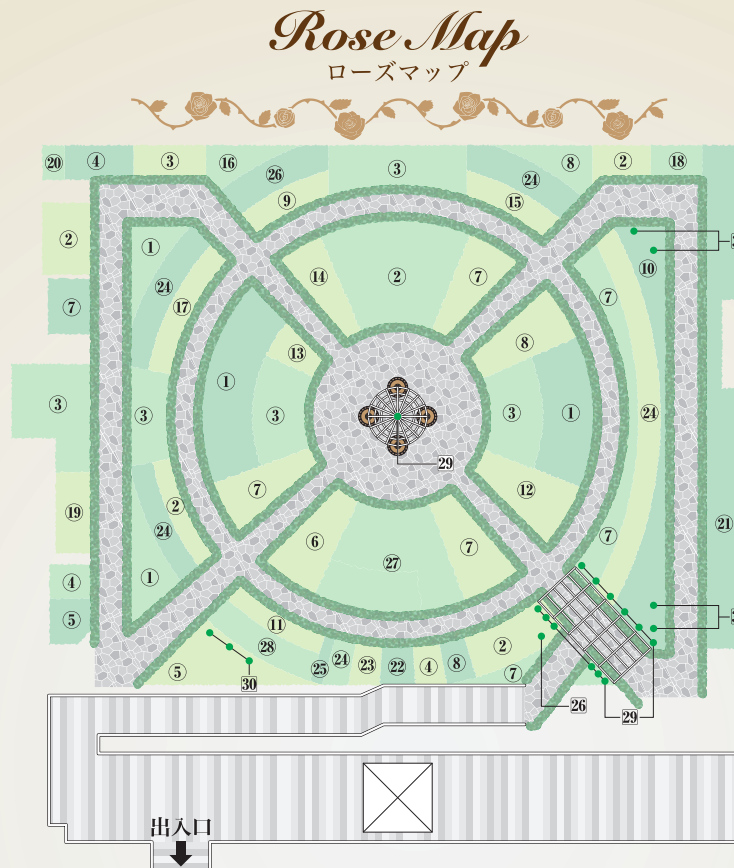
ホテルニューオータニ(東京) 03-3265-1111(代表経由)
ニューオータニクラブラウンジ



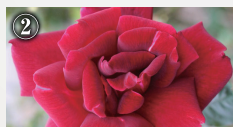
最新情報はこちら



The New Otani



① ヘルムット コール・ローズ
(ドイツ1996年) Helmut Kohl Rose
大ぶりで大輪の花を咲かせる。花首が太く凛とした美しさ、力強さがある。ドイツの元首首相の名を授けられた。



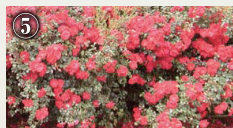
② ミス シュバイツ
(ドイツ1995年) Miss Schweiz
光沢のある花と照葉が特徴の品種。花名は「スイスのお嬢さん」という意味。



③ タイムレス '98
(アメリカ1996年) Timeless '98
絶え間なく無く咲き続ける、伸長力旺盛な品種。



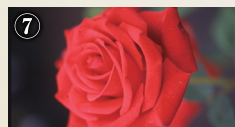
④ ブルグント '81
(ドイツ1981年) Burgund '81
ピロードのような赤い花弁が特徴の強健種。



⑤ オーストリアーナ
(ドイツ1996年) Austrianana
花付き良く、弓状に花を咲かせるのが特徴。



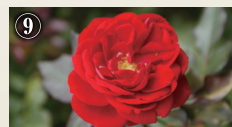
⑥ オクラホマ
(アメリカ1964年) Oklahoma
深い黒赤の花が濃厚な香りを放つ。花名は作出者の祖父、アントワーン・メイアンの愛称。



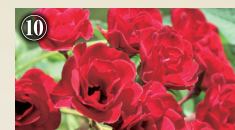
⑦ カーディナル
(ドイツ1985年) Kardinal
花付き、花もち共に良い品種。



⑧ グラフ レナート
(フランス1991年) Graf Lennart
花付き良く耐病性に優れている。



⑨ マリアンデル
(ドイツ1985年) Mariandel
光沢のある花弁で照葉ともバランス良い強健種。



⑩ スカーレット メイディランド
(フランス1985年) Scarlet Meidiland
花付き、花もち、樹性、伸長力、全てに優れた品種。つるバラとしても使用される。



⑪ ビクトル ユーゴ
(フランス1988年) Victor Hugo
19世紀フランスの文豪にちなんで名付けられた。花付きがよく、栽培しやすい品種。



⑫ プレジデント L. サンゴール
(フランス1978年) President L. Senghor
セネガル共和国初代大統領の名を授けられた。



⑬ ラバグルート
(ドイツ1978年) Lavaglut
弁質が特に強く、花もちが良い。耐寒性、耐病性に優れ、育てやすい。



⑭ レッド シンプリシティ
(アメリカ1993年) Red Simplicity
深い緑色の葉に赤がよく映える。



⑮ レッド デビル
(イギリス1967年) Red Devil
赤バラの代表作。強健で栽培しやすい品種。



⑯ 緋衣
(日本1990年) Higoromo
耐病性があり、栽培しやすい品種。一房に2-4輪の花をつけるグランディフロラ系。



⑰ ヘルツ アス
(ドイツ1998年) Herz As
花もち、花弁質が良く雨にも強い品種。コンパクトな樹形で鉢栽培にも適する。花名はドイツ語でトランプのハートのエースを意味する。



⑱ オリビア
(ドイツ1994年) Olivia
花枝が長く切花にも適する高性種。



⑲ 黒真珠
(日本1988年) Kuroshinju
黒バラの中では最も深い色合いで、日焼けに強い強健種。ピロードのような花が美しい。



⑳ マノラ
(ドイツ1991年) Manola
葉がよく繁る強健種。



㉑ ゾンマーアーベント
(ドイツ1995年) Sommerabend
輝く一重の赤色に弁底の白がポイント。非常に強健で育てやすい。花名の「夏の夕べ」をイメージした花。枝が水平に伸びるため、グラウンドカバーや、枝重に適する。



㉒ ルージュ メイアン
(フランス1983年) Rouge Mailland
色合いがひととき目立つ「ルージュ色」のバラで、樹勢の強い品種。



㉓ レベール
(ドイツ1996年) Rebell
花もち良く、花形が最後までくずれない。



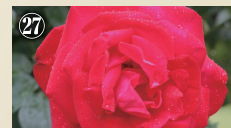
㉔ ニッコロ バガニーニ
(フランス1993年) Niccolo Paganini
花もち良く、株は樹勢が強く丈夫。名前は19世紀の名バイオリニストに因む。中輪系の赤バラでは非常に整った剣弁高芯咲。



㉕ パパ メイアン
(フランス1963年) Papa Meilland
黒バラの銘花。タマスク・モダンの香りは記憶に残るほど濃厚、やや直立だが強健。



㉖ オープニング ナイト
(アメリカ1998年) Opening Night
花付き良く丈夫で、寒冷地での栽培にも適する。昔から愛されている赤いつるバラの銘花。



㉗ 宴
(日本1979年) Utage
耐暑、耐寒性を持ち、丈夫で育てやすい。



㉘ マイナーフェアー
(ドイツ1990年) Mainaufeuer
花付きは抜群に良く、周年開花する。



㉙ アンクル ウォルター
(イギリス1963年) Uncle Walter
花付き良く丈夫で、寒冷地での栽培にも適する。昔から愛されている赤いつるバラの銘花。



㉚ ダイナマイト
(アメリカ1992年) Dynamite
光沢のある葉と茎の対照が美しく、伸長力が強い非常に強健な株。とげが少なく扱いやすいのも魅力。